

## 鶴岡市地域まちづくり未来事業 特徴的な取組の紹介

### 【朝日地域】 朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト事業 【事業年度：R3～】

#### 取組の背景や経緯

##### ■取組の背景

近年、若者が地域活動に関わるきっかけとなる組織やイベントが無くなったり、仕事が多忙化して地域活動に参加しにくくなってきているため、若者同士のネットワークが希薄化し、地域活動の停滞が課題となっている。

##### ■取組の経緯

「地域に住んでいる若者を一人ぼっちにしない」をコンセプトに、若者が集う場を創出し、ネットワークづくりと人材育成を行うため、朝日庁舎と朝日中央コミュニティセンターが中心となって取り組むこととした。

#### 事業概要

- ・朝日地域の3コミュニティセンターのうち、朝日中央地区の5地区から各2～3名程度を選出して、プロジェクトチーム「チーム WaGeSho（わけしょ=若い人）」を令和3年4月に結成した。
- ・東北公益文科大の武田真理子教授を講師に、チーム会議や自治振興会との合同会議、勉強会（朝日めぐり（現地視察による地域内の資源の再確認）、山形めぐり（やってみたい事の先進地視察を実施））を実施した。
- ・今後は、地域内での活動に加えて、他地域や東北公益文科大学学生等との交流・研修を行うことで人材の育成を図る。
- ・朝日地域全域から参加できるように、朝日中央コミュニティセンターに加えて、朝日南部・朝日東部コミュニティセンターの参画も促していく。
- ・令和4、5年度は、若者たちメンバーが企画する自主事業への支援を行う予定。

#### 事業効果と今後の展望

##### ■事業効果

結成時10名であったチームメンバーは、令和4年1月時点で34名に増え、これまで、月1～2回程度、チーム会議や合同会議など合計10回開催し交流・研修事業を行った。本事業を通して自ら考えて行動ができ、地域に愛着を持った人材育成を推進する。

また、メンバーからの声掛けによりこれまで掘り起こしできなかった地域内の若者を取り込み、若い世代の交流・つながりを拡大することで、地域への理解・愛着の深化へとつなげ、コミュニティセンターや地区行事への若者の参加を促す。

##### ■今後の展望

地域内の若者全員に案内しチームメンバーの拡大を図るとともに、SNS等を利用し、地元出身者など地域外の人との関りを取り入れ、オンラインによる参加など間接的にかかわれる仕組みを構築し、若者同士のネットワークを形成していく中で、関係人口の拡大やつながりのある地域づくりを図る。



コミュニティセンター地域部とのチーム会議



朝日めぐりで地域資源を再確認